# Takasaki taiga PORTFOLIO

TAKASAK A GAME +

髙﨑 白琥

## 自己紹介!

# ABOUT



名前:高崎 白琥(タカサキ タイガ) 出身:福岡情報ITクリエイター専門学校

メール: <a href="mailto:sindo12345taiga@gmail.com">sindo12345taiga@gmail.com</a>
Git: <a href="https://github.com/Ajakong">https://github.com/Ajakong</a>

ゲームプログラマー志望 趣味 ゲーム/演技

C:2年以上、C++:2年以上、C#/Unity:1年半以上、DX

ライブラリ:2年以上、 GitHub:2年以上、 Photoshop:2年以上、Illustrator:3ヶ月、

Word/Excel/PowerPoint:2年以上、

Premiere Pro:3ヶ月、Maya/Blender:半年

# 制作作品!

作品名 Astro Seeker

制作環境:C++/DxLib /GitHub Desktop

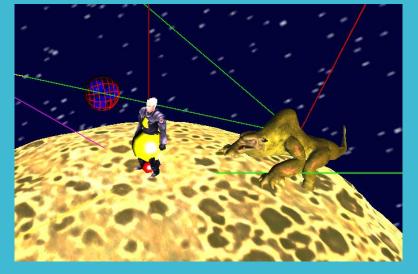


#### ゲームについて

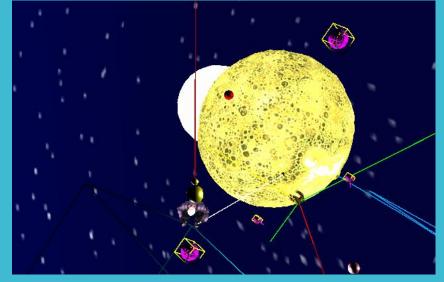
Astro Seekerは宇宙を舞台にした、惑星がフィールドという独特なゲームです。

最終目標:強力なアイテムをもって強くなったボスを倒す。





惑星ごとに用意されているギミックを攻略することで、 次の惑星に進めるようになります。



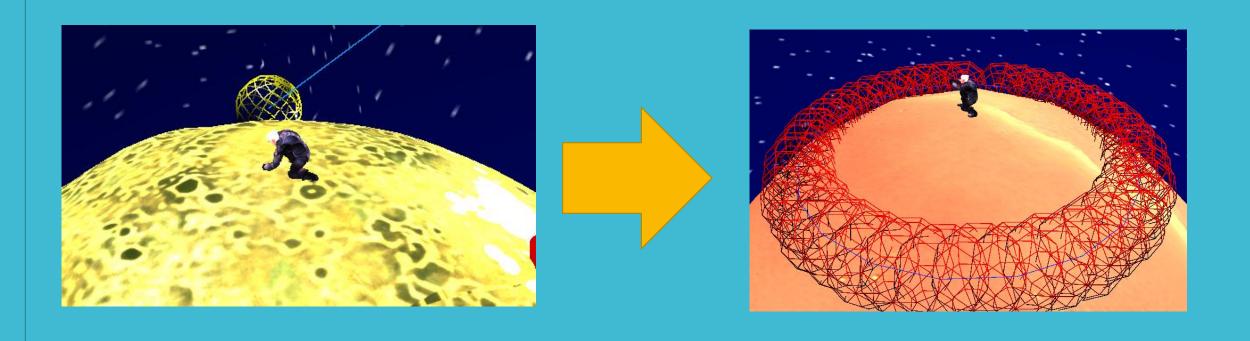
# ゲームについて



キャラクターと会話をしながら進めていくストーリー

# ゲームについて

#### アイテムを取得することでできることが増える!



# コードについて

#### ステートパターンの実装

```
/// <summary〉
/// 薄の種類によって中身を入れ替える
/// 〈summary〉
playerState_t m_shotUpdate;
/// 〈summary〉
/// 現在のジャンプアクションによって中身を入れ替える
/// 〈summary〉
playerState_t m_jumpActionUpdate;
/// 〈summary〉
/// ジャンプ中の落下攻撃
/// 〈summary〉
playerState_t m_dropAttackUpdate;
```

メンバ関数ポインタを利用して、 オブジェクトの状態遷移をしています。

```
woid Player::DropAttackUpdate()
{
    //落下攻撃の更新
    (this->*m_dropAttackUpdate)();
```

### メンバ関数ポインタの中身なる 入れ替える関数たち



```
'*m_jumpAct ionUpdateで使う*/
   ジャンプ中のアクション統括
void JumpActionUpdate();
   ジャンプ中にスピン
void JumpingSpinUpdate();
  〈summary〉
ジャンプ中に加速
void JumpBoostUpdate();
/ジャンプ中の特殊攻撃
*m_dropAttackUpdateで使う*/
  〈summary〉
落下攻撃統括
void DropAttackUpdate();
   ヒップドロップ攻撃
  id Norma IDropAttackUpdate();
   (summary)
   最大火力落下攻撃
oid FullPowerDropAttackUpdate();
```

感じた利点は、ステートごとに関数を分けるので処理の混雑を防げる

# コードについて

# Unityをツールとして活用したオブジェクト配置

#### Unity側で出力

#### C++で読み込み

```
std::string fileName = Uata/Info/data.loc;
//開くファイルのハンドルを取得
int handle = FileRead_open(FileName.c_str());

//読み込むオブジェクト数が何個あるか取得
int dataOnt = 0;
FileRead_read(&dataCnt, sizeof(dataOnt), handle);
//読み込むオブジェクト数分の配列に変更する
m_objectData.resize(dataOnt);

//配列の数分回す
for (auto& loc: m_objectData)

//名前のバイト数を取得する
byte nameOnt = 0;
FileRead_read(&nameOnt, sizeof(nameOnt), handle);
//名前のサイズを変更する
loc.name.resize(nameOnt);
//名前を取得する
FileRead_read(loc.name.data(), sizeof(char) * static_cast<int>(loc.name.size()), handle);
//夕がのガイト数を取得する
byte tagOnt = 0;
FileRead_read(&tagCnt, sizeof(tagOnt), handle);
//タがのサイズを変更する
loc.tag.resize(tagOnt);
//タがのサイズを変更する

FileRead_read(&tagCnt, sizeof(tagOnt), handle);
//タがのサイズを変更する

FileRead_read(&tagCnt, sizeof(tagOnt), handle);
//タを取得する
FileRead_read(&loc.tog.data(), sizeof(char) * static_cast<int>(loc.tag.size()), handle);
//座標を取得する
FileRead_read(&loc.rot, sizeof(loc.rot), handle);
//大きさを取得する
FileRead_read(&loc.rot, sizeof(loc.scale), handle);
//大きさを取得する
FileRead_read(&loc.scale, sizeof(loc.scale), handle);
```

デバッグをするためにわざわざ配置をする機能を作らなくていい!!